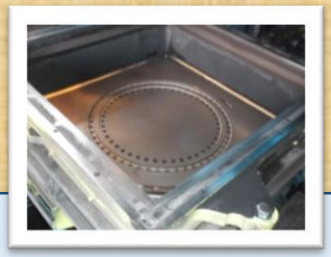
完成！新マンホールふた！

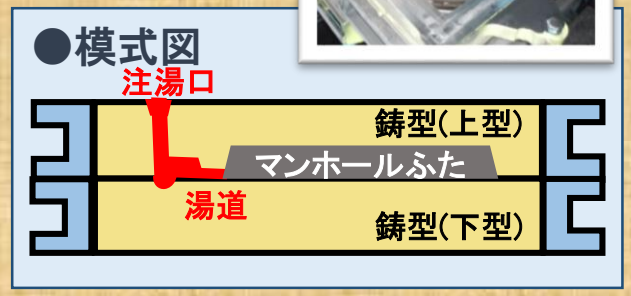
町田市の新しいマンホールふたが、完成しました。
今回は、普段見ることのない製造工程をご紹介します。
新しいマンホールができる過程をご覧ください。

鋳造（ちゅうぞう）

▲木製模型。この周りに砂を詰め、鋳型（いがた）を造ります。



砂を詰めるための鉄枠▸



マンホールのふたは“鋳物（いもの）”

――高温で溶かした鉄を、砂でできた鋳型に流し込み、成形します。

▸溶解
約1500度の熱で、鉄を溶かします。

◂注湯（ちゅうとう）
鋳型に鉄を注ぎます。

▸冷えて固まった鋳物を取出し、突起を削って、仕上げます。

完成！

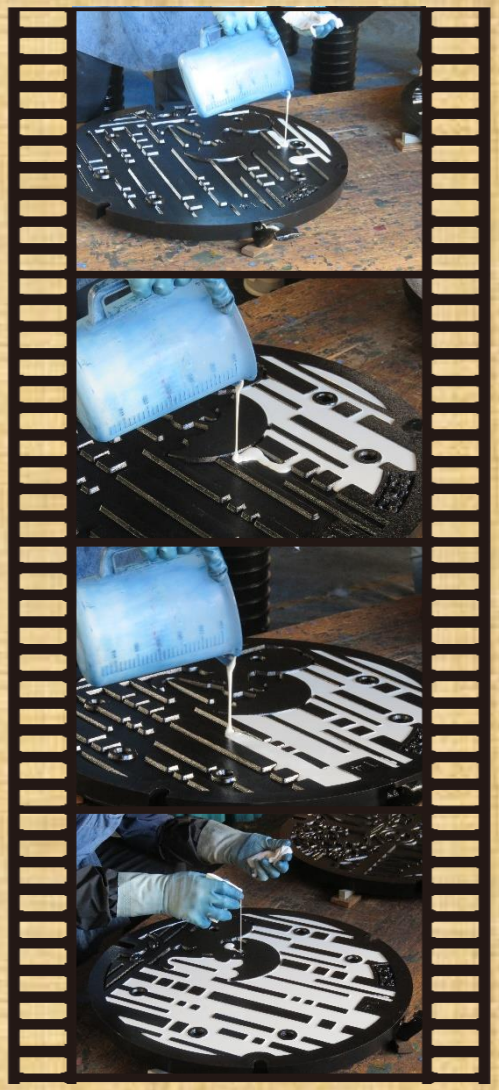
▲サビ止め塗装をして完成。マンホールの黒色は、このサビ止め塗装の色なのです。

着色

機械加工が難しく、1枚1枚職人の手作業で仕上げられます。ふたの窪みに塗料を垂らして、着色していきます。美しく仕上げられていく過程を、職人のコメントと共にご覧ください。

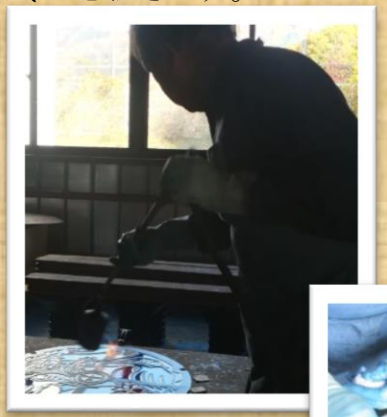
細かい模様は、難しい。

――塗料の厚みを均一に揃えるから、量の調節に神経を使うよ。

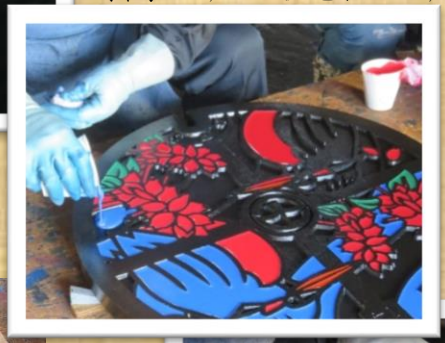


▶塗料が窪みからはみ出さないよう、塗料の厚みが均されるよう、慎重に塗料を垂らしていきます。

▼火で炙り、塗料の中の気泡を抜きます。



▼細かい模様が多いので、約2時間かけて1枚を仕上げます。



白一色は、斬新だね。

――ほかの市のマンホールもやってるけど、こんなの初めてだよ。でも、斬新で面白いね。

設置

さあ、いよいよ設置です。12月25日に市役所周辺および中心市街地に計4枚を設置しました。ぜひ現地で実物をご覧ください。

▲設置時の様子

《市役所周辺》

《中心市街地》

今後は、市内48か所に順次設置していきます。

——お楽しみに！